

北海道大学シラバス					
科目名 社会医学実習					
講義題目 					
責任教員（所属） 玉腰 暁子（大学院医学研究院）					
担当教員（所属） 玉腰 暁子（大学院医学研究院） 木村 尚史（大学院医学研究院） 上田 佳代（大学院医学研究院） 新井 明日奈（大学院医学研究院） 大林 由英（大学院医学研究院）					
科目種別	医学科			他学部履修等の可否	不可
開講年度	2022	期間	2 学期	時間割番号	021039
授業形態	実習	単位数	2	対象年次	4～4
対象学科・クラス	医学科			補足事項	
ナンバリングコード					
大分類コード	大分類名称				
レベルコード	レベル				
中分類コード	中分類名称				
小分類コード	小分類名称				
言語					
日本語で行う授業					
実務経験のある教員等による授業科目					
該当しない					

キーワード

授業の目標

本社会医学実習は社会医学的ないくつかの課題を設定し、課題に密接に関わるフィールドに実際に出向き、現場での体験から問題点、改善法などを自ら考える。従って、本実習の受講生には、基盤としての基礎医学の知識、社会医学の知恵、最低限の臨床医

学的マナーを身につけていることが求められる。

具体的には、地域保健、母子保健、精神保健、産業衛生、環境衛生などに関する課題の実習調査を行い、成果報告会での体験共有化を目指す。

■ 到達目標

1) 「データ・資料の入手」

参加する実習テーマに関して、その実態・現状を示す統計資料などの情報を入手できる。

2) 「活動・テーマの内容の説明」

実習テーマの、内容、意義・目的、役割を具体的に説明できる。

3) 「問題点・課題の提示」

実習テーマの、現状に対する問題点・課題を具体的に示すことができる。

4) 「提案・提言」

実習テーマに対する、問題点・課題の整理に基づき、その改善や予防策など、今後に対する提案・提言を示すことができる。

5) 「報告書の作成」

実習における経験や学びを報告書にまとめることができる。

6) 「発表における質疑」

実習発表会において、質疑応答・議論に参加することができる。

■ 授業計画

1) 授業のための準備

実習グループは学生数名で編成する。

1 グループにつき1 課題を選択する。

実習場所は、地域保健、母子保健、精神保健、産業衛生、環境衛生などに関連した施設、機関で教員指定のフィールドとする。

事前学習、討論を行い、実習課題についてポイントを整理しておく。

2) 実習

教員が作成した実習計画書に従い、見学、体験学習など様々な方法により実習を行う。

3) 実習成果のまとめおよび実習成果の発表

実習の目的、方法、内容、考察、感想などを図表を含めたレポートを提出する。

成果報告会で発表し、教員、学生による質疑応答を行う。

■ 準備学習(予習・復習)等の内容と分量

事前学習、討論を行い、実習課題についてポイントを整理しておく。

■ 成績評価の基準と方法

実習における取り組み、態度、報告会の内容、質疑応答、レポートにより評価する。

■ 有する実務経験と授業への活用

■ 他学部履修の条件

■ テキスト・教科書

■ 講義指定図書

■ 参照ホームページ

■ ■ 研究室のホームページ

■ ■ 備考

■ ■ 更新日時

2022/01/19 09:45:56

